

## (別表 第I-1-1) 文学研究科 歴史文化専攻 博士前期課程

	科目名	単位	
共通科目	京都の歴史・文化研究Ⅰ	2	
	京都の歴史・文化研究Ⅱ	2	
	比較文化論Ⅰ	2	
	比較文化論Ⅱ	2	
	文化交流史論Ⅰ	2	
	文化交流史論Ⅱ	2	
	応用言語学研究Ⅰ	2	
	応用言語学研究Ⅱ	2	
	歴史学・歴史遺産学研究方法論Ⅰ	2	
	歴史学・歴史遺産学研究方法論Ⅱ	2	
	日本言語文化研究Ⅰ	2	
	日本言語文化研究Ⅱ	2	
	日本歴史文化分野	日本史研究Ⅰ (古代)	2
		日本史研究Ⅱ (古代)	2
日本史研究Ⅲ (中・近世)		2	
日本史研究Ⅳ (中・近世)		2	
日本史研究Ⅴ (近・現代)		2	
日本史研究Ⅵ (近・現代)		2	
日本史研究Ⅶ (女性史)		2	
日本史研究Ⅷ (女性史)		2	
日本史研究Ⅸ (古文書)		2	
日本史研究Ⅹ (古文書)		2	
日本史研究ⅩⅠ (史料講読)		2	
日本史研究ⅩⅡ (史料講読)		2	
日本文化研究Ⅰ (古典文学)		2	
日本文化研究Ⅱ (古典文学)		2	
日本文化研究Ⅲ (古典文学)		2	
日本文化研究Ⅳ (古典文学)		2	
日本文化研究Ⅴ (近現代文学)		2	
日本文化研究Ⅵ (近現代文学)		2	
日本文化研究Ⅶ (日本語)		2	
日本文化研究Ⅷ (日本語)		2	
日本文化研究Ⅸ (日本語教育)		2	
日本文化研究Ⅹ (日本語教育)		2	
日本文化研究ⅩⅠ (漢字文化論)		2	
日本文化研究ⅩⅡ (漢字文化論)		2	
日本文化研究ⅩⅢ (かな文化論)		2	
日本文化研究ⅩⅣ (かな文化論)		2	
日本文化演習Ⅰ (漢字書法)		2	
日本文化演習Ⅱ (漢字書法)		2	
日本文化演習Ⅲ (かな書法)		2	
日本文化演習Ⅳ (かな書法)		2	
外国歴史文化分野	東洋史研究Ⅰ (政治社会)	2	
	東洋史研究Ⅱ (政治社会)	2	
	東洋史研究Ⅲ (文化)	2	
	東洋史研究Ⅳ (文化)	2	
	東洋史研究Ⅴ (女性史)	2	
	東洋史研究Ⅵ (女性史)	2	
	東洋史研究Ⅶ (史料講読)	2	
	東洋史研究Ⅷ (史料講読)	2	
	西洋史研究Ⅰ (中・近世)	2	
	西洋史研究Ⅱ (中・近世)	2	
	西洋史研究Ⅲ (近代)	2	
	西洋史研究Ⅳ (近代)	2	
	西洋史研究Ⅴ (女性史)	2	
	西洋史研究Ⅵ (女性史)	2	
	西洋史研究Ⅶ (史料講読)	2	
	西洋史研究Ⅷ (史料講読)	2	
	歴史遺産研究Ⅰ (考古学)	2	

歴史遺産 分野	歴史遺産研究Ⅱ（考古学）	2
	歴史遺産研究Ⅲ（古文書・史料学）	2
	歴史遺産研究Ⅳ（古文書・史料学）	2
	歴史遺産研究Ⅴ（美術史学）	2
	歴史遺産研究Ⅵ（美術史学）	2
	歴史遺産研究Ⅶ（遺産修復・整備研究）	2
	歴史遺産研究Ⅷ（遺産修復・整備研究）	2
	歴史遺産研究Ⅸ（景観・建築遺産研究）	2
	歴史遺産研究Ⅹ（景観・建築遺産研究）	2
		特別研究Ⅰ
特別研究Ⅱ		2
特別研究Ⅲ		2
特別研究Ⅳ		2
修了要件	前期課程の修了要件：特別研究8単位のほか、22単位以上、合計30単位以上を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。ただし、専攻する分野から8単位以上を修得すること。	

(別表 第 I -1-2) 文学研究科 歴史文化専攻 博士後期課程

	科目名	単位
日本史分野	日本古代社会文化論特殊演習	4
	日本中世社会文化論特殊演習	4
	日本近世社会文化論特殊演習	4
	日本近代社会文化論特殊演習	4
	日本女性史特殊演習	4
	歴史資料学特殊演習Ⅰ(古文書学)	4
	歴史資料学特殊演習Ⅱ(考古学)	4
	歴史資料学特殊演習Ⅲ(美術史学)	4
東洋史分野	アジア社会文化論特殊演習	4
	アジア女性史特殊演習	4
西洋史分野	ヨーロッパ社会文化論特殊演習	4
	ヨーロッパ女性史特殊演習	4
	特別研究Ⅰ	4
	特別研究Ⅱ	4
	特別研究Ⅲ	4
修了要件	後期課程の修了要件：特別研究12単位のほか、演習科目4単位以上、合計16単位以上を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。	

(別表 第I-2-1) 現代ビジネス研究科 現代ビジネス専攻 博士前期課程

		科目名	単位	
博士前期 課程		ケーススタディ	2	
		インターンシップ	2	
		計量分析特論	2	
		経済・経営史特論	2	
	経営・組 織領域	経営戦略特論	2	
		経営組織特論	2	
		経営管理特論	2	
		マーケティング特論	2	
		ファイナンス特論	2	
		会計学特論Ⅰ	2	
		会計学特論Ⅱ	2	
		税法特論Ⅰ	2	
		税法特論Ⅱ	2	
		国際経営特論	2	
		公共施設特論	2	
		経済・社 会領域	国際経済特論	2
			国際金融特論	2
	地域経済特論		2	
	公共政策特論		2	
	自治体経営特論		2	
	財政学特論		2	
	文化政策特論		2	
	理論経済学特論		2	
	地域資源特論		2	
	医療経済特論		2	
	フードシステム特論		2	
	観光学特論		2	
	研究指導	課題研究Ⅰ	2	
		課題研究Ⅱ	2	
		課題研究Ⅲ	2	
		課題研究Ⅳ	2	
	修了要件	研究指導から必修8単位に加え、共通科目、経営・組織領域および経済・社会領域から選択必修22単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、学位論文審査および最終試験に合格すること。		

(別表 第 I-2-2) 現代ビジネス研究科 現代ビジネス専攻 博士後期課程

	科目名	単位	
博士後期 課程	共通科目	特別研究 I	2
		特別研究 II	2
	経済・社 会領域	経済・社会特殊研究 I	2
		経済・社会特殊研究 II	2
		経済・社会特殊研究 III	2
		経済・社会特殊研究 IV	2
	経営・組 織領域	経営・組織特殊研究 I	2
		経営・組織特殊研究 II	2
		経営・組織特殊研究 III	2
		経営・組織特殊研究 IV	2
	修了要件	共通科目の必修4単位に加え、経済・社会領域および経営・組織領域のいずれかから8単位以上を修得し、研究指導を担当する教員による必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、学位論文審査および最終試験に合格すること。	

(別表 第 I -3) 情報学研究科 情報学専攻 修士課程

		科目名	単位		
修士課程	基礎科目	理論科目群	デザイン思考	2	
			情報学特論	2	
			プロジェクト管理	2	
			情報展望論	2	
			建築計画特論 I	2	
			建築意匠特論 I	2	
		演習科目群	情報学演習	2	
			建築デザイン総合演習 I	3	
			建築デザイン総合演習 II	3	
			インターンシップ	2	
	専門科目	情報工学領域	基盤情報科目群	情報数学特論	2
				論理設計技術特論	2
				基盤ソフトウェア特論	2
				並列コンピューティング特論	2
				ユビキタスネットワーク特論	2
				サイバーフィジカルシステム特論	2
				ヒューマンインタフェース特論	2
				応用情報科目群	人工知能基礎特論
		人工知能応用特論	2		
		空間情報学特論	2		
		知能ロボティクス特論	2		
		建築デザイン学領域	建築理論科目群	建築計画特論 II	2
				建築意匠特論 II	2
				建築情報特論	2
				環境デザイン特論	2
				インテリアデザイン特論	2
				住宅計画特論	2
建築文化特論				2	
建築設計実務科目群				建築設計インターンシップ I	4
		建築設計インターンシップ II	4		
	建築設計インターンシップ III	4			
	建築設計インターンシップ IV	4			
研究科目	課題研究 I	2			
	課題研究 II	2			
	課題研究 III	2			
	課題研究 IV	2			
修了要件	<p>【情報工学コース】 基礎科目から必修2単位と、「情報学特論」を含む選択必修4単位以上、専門科目のうち情報工学領域から14単位以上、研究科目から必修8単位の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査に合格し、最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p>【建築デザイン学コース】 基礎科目から必修2単位と、「建築デザイン総合演習 I・II」を含む選択必修6単位以上、専門科目のうち建築デザイン学領域から10単位以上、研究科目から必修8単位の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文または修士設計の審査に合格し、最終試験（口頭試問）に合格すること。</p>				

## (別表 第I-4-1) 看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程

		科目名	CNS	単位	
共通基礎科目A		看護理論	●	2	
		看護研究	●	2	
		看護教育論	●	2	
		コンサルテーション論	●	2	
		看護管理論	●	2	
		看護政策論	●	2	
		看護倫理論	●	2	
共通基礎科目B		フィジカルアセスメント	●	2	
		臨床薬理学	●	2	
		病態生理学	●	2	
実践看護基礎学		実践看護基礎学特論		2	
		実践看護基礎学演習Ⅰ		2	
		実践看護基礎学演習Ⅱ		2	
		実践看護基礎学演習Ⅲ		2	
		看護教育学特論		2	
		看護教育学演習Ⅰ		2	
		看護教育学演習Ⅱ		2	
		看護教育学演習Ⅲ		2	
	実践看護応用学		実践看護応用学特論(老年)	●	2
			実践看護応用学特論Ⅰ(精神)	●	2
		実践看護応用学特論Ⅱ(精神)	●	2	
		精神看護学Ⅰ	●	2	
		精神看護学Ⅱ	●	2	
		精神看護学Ⅲ	●	2	
		精神看護学Ⅳ	●	2	
		老年看護学Ⅰ	●	2	
		老年看護学Ⅱ	●	2	
		老年看護学Ⅲ	●	2	
		老年看護学Ⅳ	●	2	
		実践看護応用学演習Ⅰ(老年)	●	2	
		実践看護応用学演習Ⅱ(老年)	●	2	
		実践看護応用学演習Ⅰ(精神)	●	2	
		実践看護応用学演習Ⅱ(精神)	●	2	
		実践看護応用学実習Ⅰ(老年)	●	2	
		実践看護応用学実習Ⅱ(老年)	●	4	
		実践看護応用学実習Ⅲ(老年)	●	4	
		実践看護応用学実習Ⅰ(精神)	●	5	
		実践看護応用学実習Ⅱ-1(精神)	●	5	
		実践看護応用学実習Ⅱ-2(精神)	●	5	
		実践看護応用学特論Ⅰ(療養支援)		2	
		クリティカルケア看護特論	●	1	
		クリティカルケア家族看護論	●	1	
		クリティカルケア臨床判断総論	●	2	
		急性・重症患者病態生理学特論	●	2	
		クリティカルケア看護論Ⅰ	●	2	
		クリティカルケア看護論Ⅱ	●	2	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ	●	2	
		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	●	2	
		実践看護応用学実習Ⅰ(クリティカルケア)	●	3	
		実践看護応用学実習Ⅱ(クリティカルケア)	●	3	
	実践看護応用学実習Ⅲ(クリティカルケア)	●	4		
専門科目		実践看護応用学合同演習Ⅰ(療養支援・精神・老年)		2	
		実践看護応用学合同演習Ⅱ(療養支援・精神・老年)		2	
		次世代育成看護学特論Ⅰ(小児)		2	

博士前期  
課程

次世代育成看護学	次世代育成看護学特論Ⅱ（小児）		2	
	小児看護学特論Ⅰ	●	2	
	小児看護学特論Ⅱ	●	2	
	小児看護学特論Ⅲ	●	2	
	小児看護学特論Ⅳ	●	2	
	小児看護学特論Ⅴ	●	2	
	次世代育成看護学特論Ⅰ（周産期）	●	2	
	次世代育成看護学特論Ⅱ（ウイメンズヘルス）	●	2	
	次世代育成看護学Ⅰ（周産期看護）	●	2	
	次世代育成看護学Ⅱ（ウイメンズヘルス・ケア）	●	2	
	次世代育成看護学演習Ⅰ（小児）		2	
	次世代育成看護学演習Ⅱ（小児）		2	
	次世代育成看護学演習Ⅲ（小児）		2	
	小児看護学演習Ⅰ	●	2	
	小児看護学演習Ⅱ	●	2	
	小児看護学実習Ⅰ	●	2	
	小児看護学実習Ⅱ	●	4	
	小児看護学実習Ⅲ	●	4	
	次世代育成看護学演習Ⅰ（周産期・ウイメンズヘルス）	●	2	
	次世代育成看護学演習Ⅱ（周産期・ウイメンズヘルス）	●	2	
	次世代育成看護学演習Ⅲ（周産期・ウイメンズヘルス）	●	2	
	次世代育成看護学実習Ⅰー1（周産期看護）	●	3	
	次世代育成看護学実習Ⅰー2（周産期看護）	●	3	
	次世代育成看護学実習Ⅱ（ウイメンズヘルス・ケア）	●	4	
	広域看護学	国際看護学特論		2
		地域看護学特論		2
看護管理学特論			2	
国際看護学演習Ⅰ			2	
国際看護学演習Ⅱ			2	
国際看護学演習Ⅲ			2	
地域看護学演習Ⅰ			2	
地域看護学演習Ⅱ			2	
地域看護学演習Ⅲ			2	
看護管理学演習Ⅰ			2	
看護管理学演習Ⅱ			2	
看護管理学演習Ⅲ			2	
研究指導	特別研究Ⅰ		2	
	特別研究Ⅱ		2	
	特別研究Ⅲ		2	
	特別研究Ⅳ		4	
	課題研究Ⅰ	●	2	
	課題研究Ⅱ	●	2	
	課題研究Ⅲ	●	2	
	課題研究Ⅳ	●	2	

<p>修了要件</p>	<p>2つのコースを設定し、それぞれの卒業要件および履修方法は、次のとおりとする。</p> <p><b>【研究コース】</b>          共通基礎科目B以外の講義科目から必修科目を含む合計10単位以上に加え、専攻分野の専門教育科目の講義科目4単位以上および演習科目6単位、特別研究10単位、合計30単位以上を修得し、修士論文を提出し論文審査および最終試験に合格すること。</p> <p><b>【専門看護師コース】</b>          共通基礎科目Aの必修科目を含む合計8単位以上、共通基礎科目Bの必修6単位、専攻分野の専門教育科目の講義科目および演習科目で合計14単位、実習10単位、課題研究8単位、合計46単位以上を修得し、専門領域の課題についての修士論文を提出し、論文審査および最終試験に合格すること。</p> <p>注) 表中「CNS」行に「●」のある科目は専門看護師養成課程の科目を示す。</p>
-------------	---

(別表 第 I-4-2) 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程

		科目名	単位
博士後期 課程	共通科目	看護実践研究方法論	2
		実践看護基礎学特論演習	2
	専門科目	実践看護応用学特論演習	2
		次世代育成看護学特論演習	2
		広域看護学特論演習	2
	特別研究	特別研究 I	2
		特別研究 II—1	2
		特別研究 II—2	2
		特別研究 III—1	2
		特別研究 III—2	2
	修了要件	共通科目から2単位（必修）、専門科目から2単位以上、特別研究を10単位（必修）、合計14単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること。	

## (別表 第 I -5-1) 健康科学研究科 健康科学専攻 博士前期課程

			科目名	単位	
共通基礎科目			健康科学特論 I	2	
			健康科学特論 II	2	
			研究倫理学特論	2	
			健康科学研究法特論 I	2	
			健康科学研究法特論 II	2	
			心理統計学特論	2	
			脳科学特論	2	
			健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	2	
			精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	
			救急医学特論	2	
			精神薬理学特論	2	
			生活支援学特論	2	
			運動機能学特論	2	
			発達障害特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	
			高齢期支援学特論	2	
			臨床検査学特論	2	
			医科学研究法特論	2	
	専門領域科目	理学療法学領域	a 群	生活機能障害理学療法学特論 I	2
生活機能障害理学療法学特論 II				2	
b 群			運動器障害理学療法学特論 I	2	
			運動器障害理学療法学特論 II	2	
c 群			脳機能障害理学療法学特論 I	2	
			脳機能障害理学療法学特論 II	2	
作業療法学領域		a 群	生活環境支援学特論	2	
			生活環境支援学特別演習	2	
		b 群	生活行為作業療法学特論	2	
			生活行為作業療法学特別演習	2	
心理学領域		a 群	発達心理学特論	2	
			認知心理学特論	2	
			学習・行動分析学特論	2	
		b 群	組織心理学特論	2	
			社会心理学特論	2	
			社会調査特別演習	2	
救急救命学領域				救急救護学特論	2
				救急救護学特論演習	2
				災害・防災学特論	2
				救急救命システム特論	2
臨床心理学領域		a 群	臨床心理学特論		4
	臨床心理学面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)		2		
	臨床心理学面接特論 II		2		
	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)		2		
	臨床心理査定演習 II		2		
	臨床心理基礎実習		2		
	心理実践実習 I		4		
	臨床心理実習A (心理実践実習 II)		6		
	臨床心理実習B		1		
			分析心理学特論	2	
		思春期臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2		

博士  
前期  
課程

	b 群	グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	
		投映法特論	2	
	臨床検査学領域	a 群	生命情報医科学特論	2
			生命情報医科学特論演習	2
	b 群	人体情報医科学特論	2	
			人体情報医科学特論演習	2
	研究演習		健康科学特別研究Ⅰ	2
			健康科学特別研究Ⅱ-1	3
			健康科学特別研究Ⅱ-2	3
	教育関係科目		教育心理研究	2
		教育原理研究	2	
		教育方法研究	2	
修了要件	<p>6つのコースを設定し、それぞれの卒業要件および履修方法は、次のとおりとする。</p> <p><b>【理学療法学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修を「健康科学研究法特論Ⅰ」を含む12単位以上（ただし、心理学領域で4単位まで代替可能とする〈演習科目を除く〉）、理学療法学領域のa～c群いずれか1つの群から4単位、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p><b>【作業療法学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修を「健康科学研究法特論Ⅰ」を含む12単位以上（ただし、心理学領域で4単位まで代替可能とする〈演習科目を除く〉）、作業療法学領域のa、b群いずれか1つの群から4単位以上、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p><b>【心理学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修8単位以上、心理学領域から8単位以上、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p><b>【臨床心理学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修2単位以上、心理学領域a・b群から各2単位以上（演習科目を除く）、臨床心理士特修領域のa群から21単位以上、b群から2単位以上、研究演習8単位、合計43単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p><b>【救急救命学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修を「健康科学研究法特論Ⅰ」を含む10単位以上（ただし、心理学領域で4単位まで代替可能とする〈演習科目を除く〉）、救急救命学領域の「救急救護学特論」「救急救護学特論演習」を含む6単位以上、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。</p> <p><b>【臨床検査学コース】</b>          共通基礎科目から必修6単位、選択必修を「健康科学研究法特論Ⅰ」を含む12単位以上（ただし、心理学領域で4単位まで代替可能とする〈演習科目を除く〉）、臨床検査学領域のa、b群いずれか1つの群から4単位、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。</p>			



(別表 第I-5-2) 健康科学研究科 健康科学専攻 博士後期課程

		科目名	単位	
博士 後期 課程	共通科目	健康科学実践研究法特論	1	
		Scientific English	1	
		健康科学イノベーション特論	1	
		医療マネジメント特論	1	
		医学・健康教育特論	1	
	専門 科目	健康生命 科学領域	生体機能学特論演習	2
			行動科学特論演習	2
		健康・生 活支援科 学領域	健康回復支援科学特論演習A	2
			健康回復支援科学特論演習B	2
			健康回復支援科学特論演習C	2
			健康回復支援科学特論演習D	2
			健康・生活支援科学特論演習A	2
			健康・生活支援科学特論演習B	2
			健康・生活支援科学特論演習C	2
			健康・生活支援科学特論演習D	2
	健康・生活支援科学特論演習E	2		
	研究指導	特別研究Ⅰ	2	
		特別研究Ⅱ	4	
		特別研究Ⅲ-1	2	
		特別研究Ⅲ-2	2	
	教育関係科目	教育心理特論研究	2	
		教育原理特論研究	2	
		教育方法特論研究	2	
修了要件	共通科目から「健康科学実践研究法特論」を含む2単位以上、専門科目から2単位以上、研究指導10単位、合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験（口頭試問）に合格すること。			